介護職員等特定処遇改善加算にかかる情報公開（見える化要件）

区 分	職 場 環 境 要 件 項 目	施 設 の 取 組 み
入職促進に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築 ・ 他産業からの転職者・主婦層・中高年者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間研修計画を作成し全員参加を目標としている ・ 無資格者の採用も積極的に行い、技術向上を目指し親切丁寧に指導
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する認知症ケア・中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援 ・ 上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方に関する定期的な相談の機会の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資格取得を目指す職員に対しては、受講費の補助・実習等の日程配慮等を積極的に行っている ・ キャリアパスの構築
両立支援・多様な働き方の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の事情等に応じた勤務シフト作成、非正規から正規職員への転換制度等の整備 ・ 有給休暇を取得しやすい環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の事情やご家族の都合等によるシフトの調整 ・ 有給休暇の取得は希望に沿うよう配慮している
心身の健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務やメンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等の体制の充実 ・ 短時間労働者も受診可能な健康診断・ストレスチェックや従業員のための休憩室設置等健康管理対策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 悩み相談窓口を設置 ・ 職員全員に対して年1回の健康診断・ストレスチェックを実施
生産性向上（業務改善及び働く環境改善）のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厚生労働省が示している「生産性向上ガイドライン」に基づき、業務改善活動の体制構築（委員会の立上げ又は外部研修会の活用等）を行っている ・ 介護ソフト（記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの）、情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末等）の導入 ・ 業務内容の明確化と役割分担を行い、介護職員がケアに集中できる環境を整備し、間接業務を介護助手等の活用をするなど役割の見直しやシフトの組み換え等を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「生産性向上推進委員会」を設置し3月に1回開催 ・ 業務の効率化をめざし、介護ソフトを導入 ・ 業務内容と役割分担を明確にし介護助手を積極的に採用している
やりがい・働きがいの醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善 ・ 地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 申し送りにて情報共有をし、定期的なカンファレンスを開催し意見交換を実施 ・ 地域の児童の慰問の受け入れ